

## 代議員制度導入にむけて 検討内容等経過報告 No. 2

（担当理事 猿渡真吾）

### 会の将来を考える・・・

福岡県社会福祉士会が設立されはやく 30 年を超え、会員数が 2,000 人近くになりました。会としての活動は、委員会活動のほか委託事業や権利擁護事業など、世代を越え多岐にわたっています。福岡県全体としては非常に広域であるものの「研修はいつも福岡市や春日市」と言われることも多く、参加も県全体で開催するより「地元地域」で行う方が参加人数も多い傾向があります。

「顔の見える関係づくり」と本会の中で比較的耳にする言葉です。「みんなの声をどう集めて、どう活かしていくか」という問題において、県で一つの集団であれば声が届きにくいという課題や、会員同士でありながら、誰か分からないままということとはよくある話です。

前回の通信でお知らせしたとおり、会の将来を考えるにあたって「支部化検討」や「代議員制」を検討する委員会が発足します。

そもそも「支部化」については遡ること 3 年前に協議が始まり、現在博多にある事務所はそのままに、地域にも同様の拠点を設定する検討がなされました。実際にはコロナ禍があり、検討メンバーの多くは理事を退任され現在に至ります。

「支部化」は現在の本会定款にも「支部を置くことができる」とあり、すぐにでも拠点化することは可能です。「支部化」の目的は何かを考えるとときに「顔の見える関係づくり」が主たる目的であるのならば、「顔の見える関係」をどう構築していき、会の活動とリンクさせることができるか、「地域の拠点」を中長期的にどのようにして発展化させられるかが重要です。

委員会としては現状の課題を共有しながら、会の将来を見据えつつ「支部」としての拠点を活性化させるためにも「代議員制」を検討して「地域の声を会に直結」できる仕組みづくりを進めることを考えています。

社会福祉士会のみならず、他の専門職団体の組織図なども参考にしながら「顔の見える関係づくり」の深化を目指していきます。

皆様からの忌憚のないご意見をお願いします。

ご意見は右記QRコードからお寄せください



次の 10 月号以降、定款の改正や代議員制度設計に関する検討状況や Q & A 等をお知らせします。